



Profile

新野木材株式会社

「拙者は阿波の国のしいたけ侍と申す」。シイタケの笠をかぶった侍のキャラクターがおなじみの菌床生シイタケ『しいたけ侍』が新野木材の主力商品。一般的なシイタケよりも大きく、肉厚で丸くコロンとした形が特徴的。新野木材独自の手法で、水分量を抑え、旨味が凝縮された味としっかりと歯ごたえが人気の逸品だ。



煮るなり焼くなりお任せ致し候！ しいたけ侍はここから生まれた

『新野木材』は、創業した1950年当初から、製紙用チップの製造に携わってきた。現在は、シイタケ菌床の製造にかかせないオガコ（広葉樹を細かい粉末状にしたもの）と菌床生シイタケの生産販売を行っている。

徳島県は菌床生シイタケ生産量が全国第1位を誇り、その黎明期にオガコ製造とシイタケ栽培に着手し、徳島県の生シイタケの発展の一助を担ってきた。現在でも、新規で事業を始めようとする人や同業者の視察も受け入れ、相談にも乗っている。そこには、自分たちが木材業からシイタケ栽培に着手した時、シイタケ栽培の先輩にいろいろと教えてもらった恩返しと、シイタケ業界が未来へ続いていくことへの思いも込められている。

オガコ製造に使用している原木は、徳島県内はもとより四国内から集められた広葉樹で、定期的に木を切ることにより、あらたに木を育て、森を管理し、荒廃を防ぎ、循環させていくことで未来の資源へとつないでいくことになる。

他のきのこに比べ、最新技術や自動化に頼ることができないのがシイタケづくり。従業員がそれぞれに自分の子に接するように、シイタケを育てているという。自然を感じながらシイタケの声を聞き、社員、スタッフ一丸となって、これからもシイタケづくりに邁進していく。